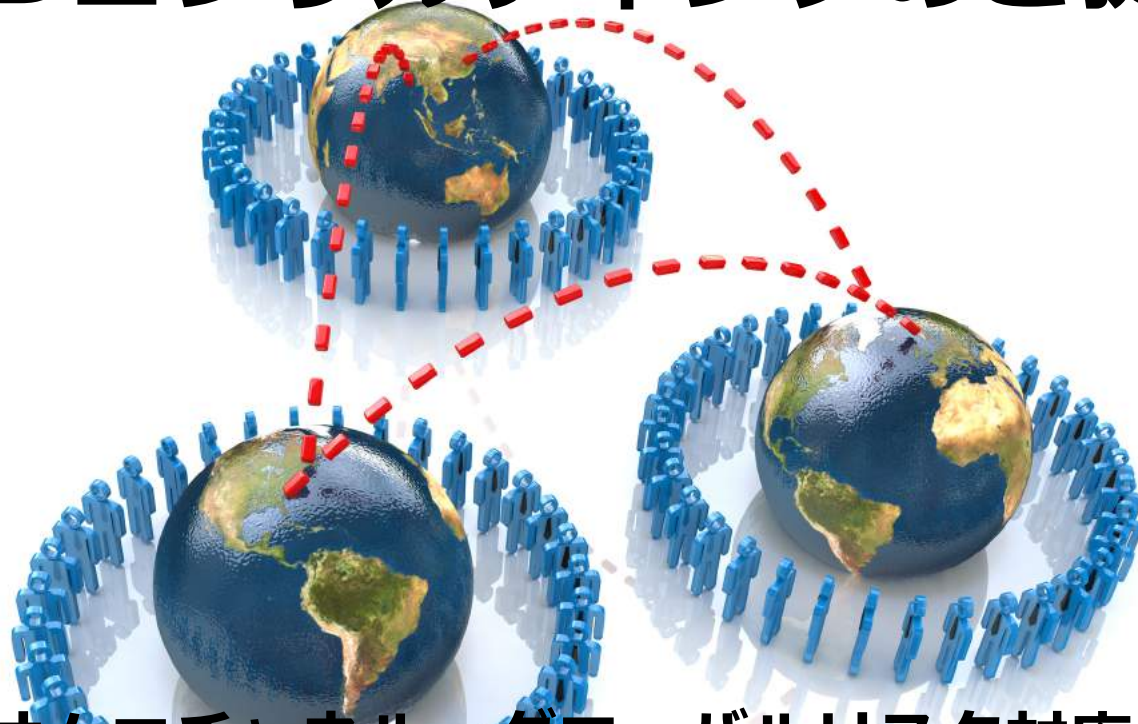


To Do Next

R&Dコンサルティングのご提案



オムニチャネル、グローバルリスク対応

www.tdn-japan.com



TDN International Ltd.

当社のR&Dコンサルティングについて

当社の事業の全ての根幹にあるのは、**「R&D」**を基本に組み立てられたリスクマネジメントによる、最新の消費政策における事業者リスク軽減の具体的方法です。

R&Dをご存知ですか？

研究開発(けんきゅうかいはつ、[英](#): Research and development、R&D)とは特定の対象を調査して、基礎学問の研究や、目的に応じた応用研究の模索、将来的に発展する技術等の試験を行い、技術的な優位を得るための活動である。

-
- 英語ではResearch and developmentを用いることが多く、20世紀の初頭以降に用いられるようになった言葉であり、R&Dの略称を用いた組織や部局、団体名が多数存在する

(出展 wikipedia)

製品（商品）リスク

企画・設計時における
リスク低減の取り組み

例えば・・・

販売後のリスクについて

- ① 使用者の誤使用
- ② 経年劣化
- ③ リコールなどの対策

残留リスクの検証

- 過去の事故情報などを参考に、細部に亘りリスクを排除できたか
- 設計で解決できることを消費者に責任転嫁していないか
- 設計寿命、期待寿命などを本体表示、取扱説明書に表示できるか

常に安全性を最優先

- 見た目が悪いから・・・などの理由で安全を犠牲にしない
- 安全装置などについては、複数の方法で万全を期す
- 重要な表示は内容、表示場所など徹底した消費者視点で実施

経営効率化による製品リスク

- 人が減り異なる基準やシステムの問題などから従来の体制の不備が露呈する
- 自社の対応力を越えた製品の残留リスク

これらの他にも流通多様化、法律の変化、日本以外での地域での消費によるクレームやトラブルの拡大、これにSNSなどが加わり、思わぬ事態になることを想定しておく

販売後のリスク軽減も！

- 修理などだけでなく、特に長期使用やお手入れの仕方でトラブルになりやすいものは、設計にてそれらを軽減することを組み入れる
- 社内体制なども含め、リコールなどを想定した製品設計を行う

製品リスクの軽減

危ないものは扱わない。

- 採用決定前にアセスメントを実施
- 危ない事業者とは取引しない
- 販売後のリスクの低減策の実施

**具体的には誰が、何時から、どうする
のでしょうか？**

プロに任せませんか？

- 品質管理にリスクマネジメントを組み入れる
- 国の基準の他に自主的な基準を策定する
- 第三者検証や管理システムの導入
- 定期的な研修を実施
- 専門家の育成

1年間で基礎を構築します！

なぜ取説にこだわるか

- リスク回避の取り組みが客観的に見える
- 設計意図、設計図書としての完成度がわかる
- 所定の検証プログラムで一定の研修を受けると誰でも平均的に品質確認できる

大切な情報を伝える基本です！

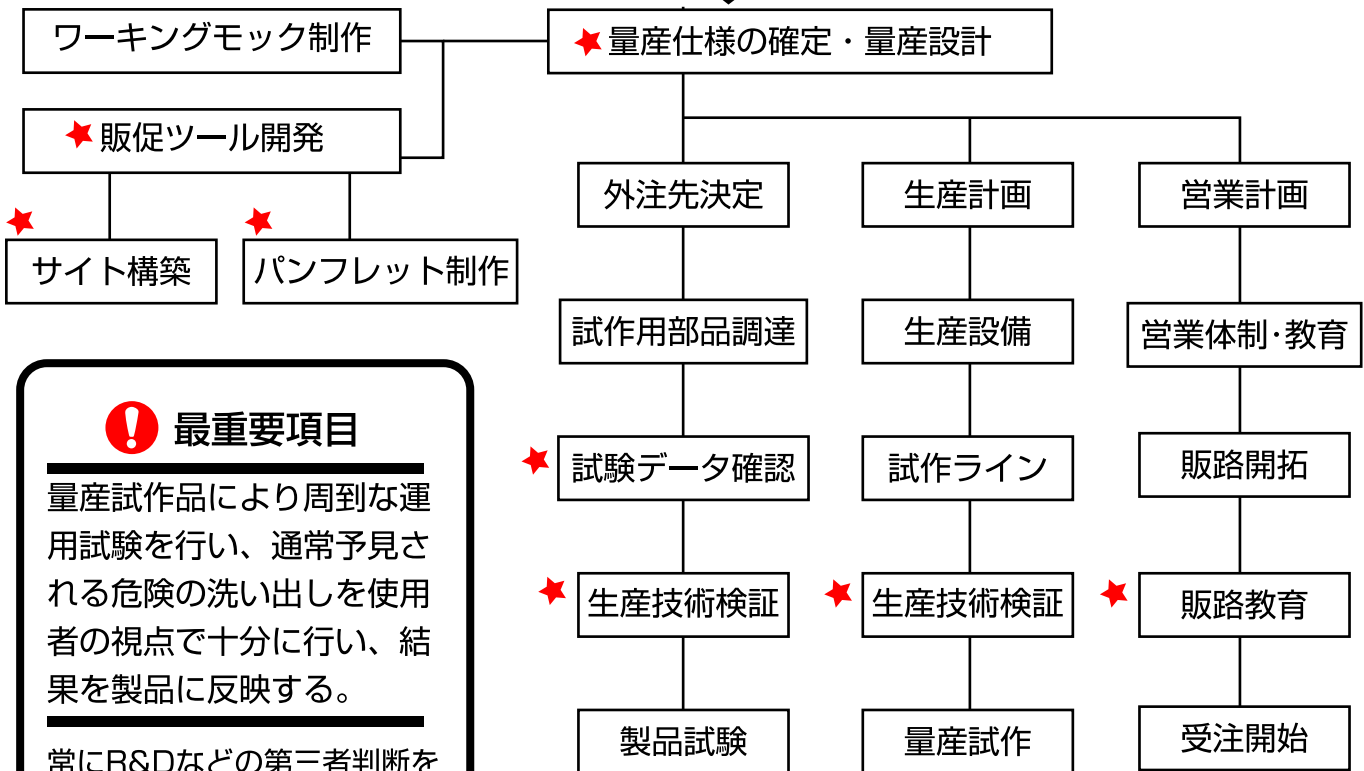
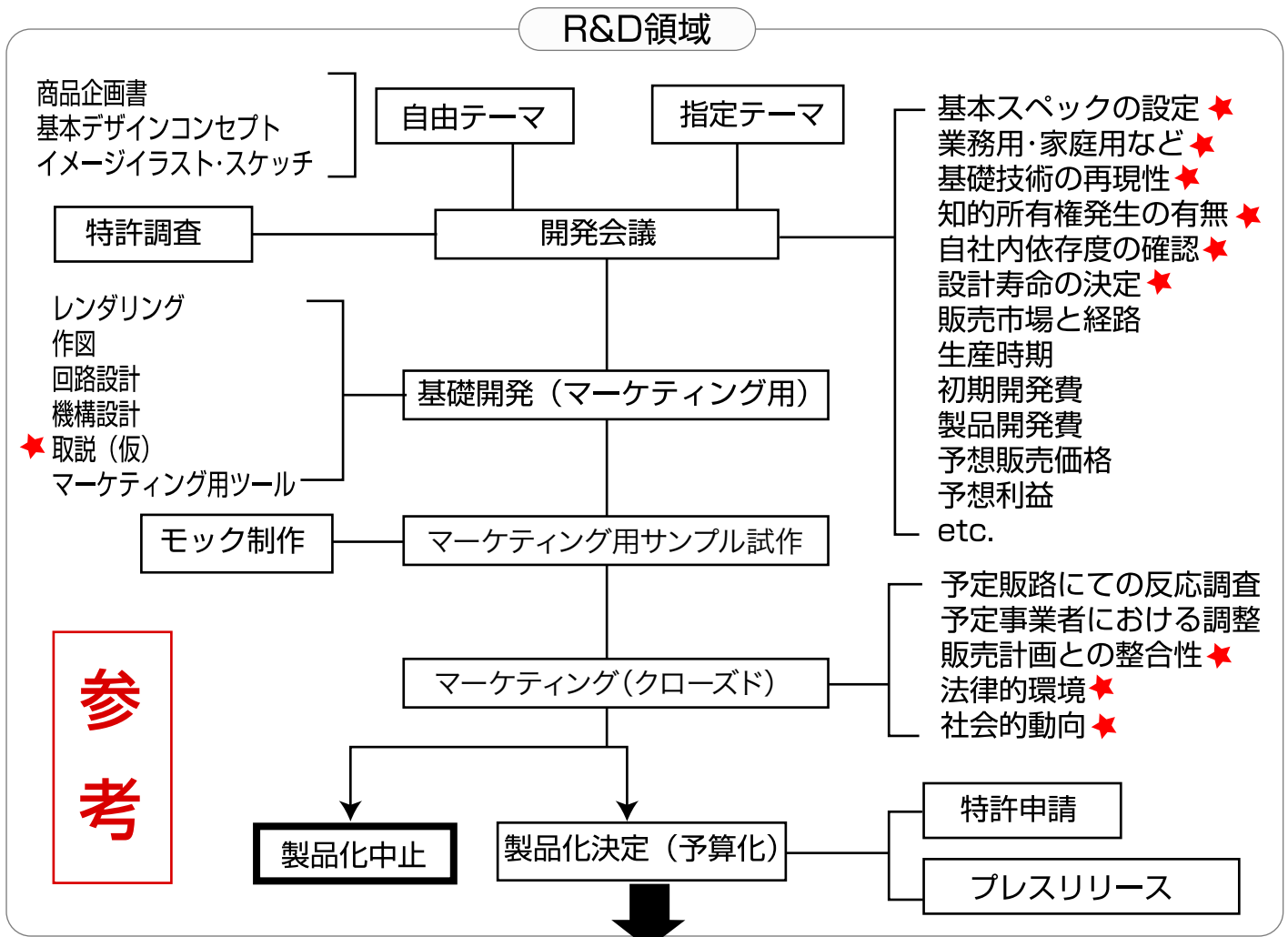
R&Dの出番です！

- アイデア、新企画、新たな製品などの品質を判断する、企画設計から生産、そして検査や販売、販売後のアフターサービス、事故やリコール対応・・・
- 5年後、10年後、30年後にも、開発者、経営者の知恵が伝わり将来の繁栄に寄与する投資効果
- その結果が他との圧倒的な優位性をもたらす
- これがR&Dの本質、当社は多くの事例で証明しています。

あなたの会社の「製品リスク」を

効果的に低減、悩みを解決いたします！

商品企画から製品化のフローチャート



! 最重要項目

量産試作品により周到的な運用試験を行い、通常予見される危険の洗い出しを使用者の視点で十分に行い、結果を製品に反映する。

常にR&Dなどの第三者判断を求めること。

★ 印は販売 (小売) 事業者においても十分な確認を行う必要のある項目

TDNインターナショナル株式会社

(禁転記転載転用)

©PROCONSULTS2007.04.01tdn ver2.2



www.tdn-japan.com

03-6909-6618

TDNインターナショナル株式会社

〒173-0013 東京都板橋区氷川町47-4 アビタシオンK 1F

eMail info@tdn-japan.com

URL <https://www.tdn-japan.com>